

令和4年度第2回奈良県文化振興戦略懇話会開催概要

- 1 開催日時：令和4年11月4日（金）16：00～17：30
- 2 会場：奈良県社会福祉総合センター 5階大会議室
- 3 テーマ：
県有文化施設周辺の歴史文化資源や観光資源を活かした環境整備について
（畝傍山周辺を検討材料に議論）
- 4 出席者：青柳委員、千田委員、長谷川委員、藪内委員、王委員、荒井知事
- 5 議事概要
懇話会は非公開で開催。
委員からの主な意見は以下とおり。

【主な意見】

- ・ 畝傍山において文化とスポーツの融合が実現すれば、非常に良いものとなると思う。
- ・ 橿原考古学研究所、スポーツ、公園、その他の歴史文化資源・観光資源のおもしろさを一体的に見せ、魅力を表現することが重要。
- ・ 橿原考古学研究所及び附属博物館を文化施設の中心とし、橿原公苑など周辺のスポーツ施設とともに、文化ゾーン・スポーツゾーンとして、オープンな形での融合がよい。
- ・ 日本では木造建築物など様々なものが、実物として保存されており、日本の考古学はアジアで最も進んでいると思われる。
- ・ 橿原考古学研究所附属博物館は、質・量とも日本最大の考古学博物館になることが所蔵品からも十分考えられるが、現在の展示スペースでは、十分と言えない。
- ・ 地域住民が楽しむことができ誇りに思える博物館、美術展や音楽コンサートを開くことにより、他分野のファンにも関心を持ってもらえる博物館としたい。
- ・ 奈良県立医科大学の新キャンパス整備も進めており、病院周辺のまちづくりという視点など、広い視野で考える必要がある。
- ・ 県外からのアクセスや宿泊施設・食事の場などの受入れ体制を整えることが重要。
- ・ 遠方から訪れる人が楽しめるだけでなく、周辺住民が日常的に利用できるような環境整備が必要。

